

1 学校関係者評価

(1) 地域に開かれた教育課程の推進

- ・学校運営協議会の時に、本年度も中学校・小学校ともに児童生徒の発表があった。このような活動は児童の様子を直接見ることが出来るのでよい取組であり、学校の様子が伝わってきた。

(2) 豊かな心の育成

- ・小学校では「花のまごころ便」を通して地域の独居老人へ花を配付する活動や年賀状・暑中見舞いを送る活動を継続して行われており、今後も継続していただきたい。

(3) 確かな学力の育成

- ・校長先生を中心に、先生方が同じ方向を向いて各々の児童生徒の学習向上に努力されており頭が下がる。中学校では、空き時間等を利用し複数で指導されており学力充実のために努力されている。

(4) 健やかな心身の育成

- ・地域の防災訓練へ多くの子供たちが参加できるよう今後も引き続き働きかけをお願いしたい。メディアの利用について、継続して呼びかけをしていただきたい。

3 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

(1) 地域に開かれた教育課程の推進

- ・来年度も地域学校協働活動推進員が学校と地域をつなぎ、多くの体験活動を通して栖本町を愛する児童生徒を育てていきたい。

(2) 豊かな心の育成

- ・地域の方と連携し、活動を通して真心のふれあいを重視した、心の豊かな児童を育成する。積極的に地域の方をお招きし、児童・生徒との関わりを通してふるさと栖本を好きになる活動の充実を図りたい。

(3) 確かな学力の育成

- ・ICTを活用しながら、児童生徒間で学び合うことができるように、校内研修を中心に小中で連携した取組の充実を図っていく。

(4) 健やかな心身の育成

- ・メディア依存から来る基本的な生活習慣の乱れについては、家庭への啓発及び連携を来年度も図りながら生活習慣の定着に向けて地道に取組を進めていく。また、保小中で連携し取り組んでいるノーメディアデーの充実を図っていく。メディアによる体への影響について講師を呼んで保護者への啓発を図りたい。